

2023年5月23日
株式会社 JPメディアダイレクト

**ポスティングメディアのレスポンス率を事前予測する新たな「AI 分析モデル」を開発・販売開始
～弊社実証実験で「1.7 倍」の効果を計測～**

日本郵政グループの株式会社 JP メディアダイレクト（東京都港区、代表取締役 CEO 中島 直樹 以下「JPMD」）は、株式会社フィンデクス（東京都千代田区、代表取締役 青木 義充）の協力のもと、「JPMD タウンプラス」および「JPMD ポスティング」※1のレスポンスを予測する新サービス「AI 分析モデル」を開発しました。

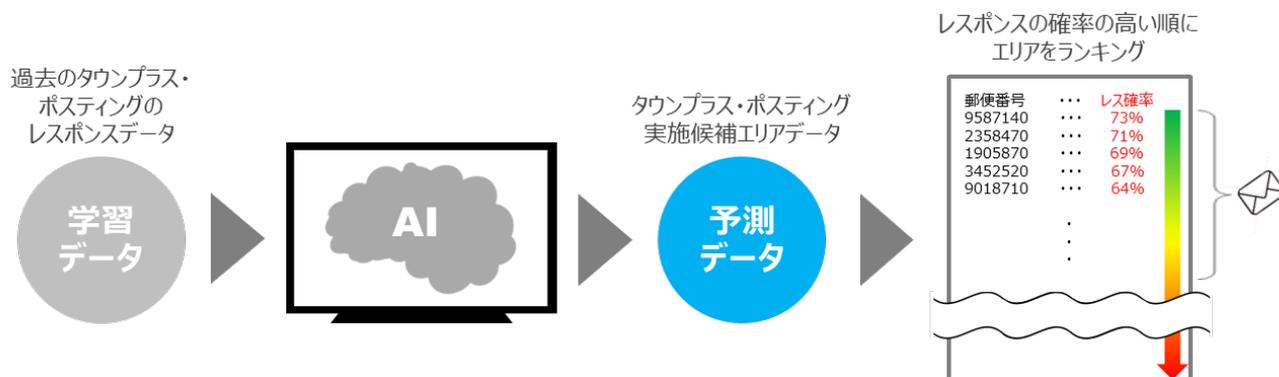
本サービスは、これまでに実施したポスティングメディア施策による、実際のレスポンスデータ（郵便番号データのみ、個人情報不要）をご提供いただき、弊社にて国勢調査データや独自の統計データを紐づけます。その後、JPMD 独自の AI 分析手法によりレスポンス率に影響するエリアの特性を抽出し、ターゲットエリアごとに「期待レスポンス率」を算出します。この算出結果から高レスポンスを期待できるエリアを事前予測した上で、施策を実施することが可能となります。

今回、弊社クライアントのレスポンスデータをご提供いただき、実証実験をしたところ、過去のレスポンス率に対し「最大 1.7 倍の効果」が認められました。※2 ※3

今後、JPMD のポスティングメディアサービスと合わせたご提案が可能です。ご利用料金につきましては、お見積りいたしますのでお気軽にお問合せください。

- ※1 日本郵便が指定エリアの郵便受け箱に全戸配達する「タウンプラス」や、全国のポスティングネットワークを活用し、クライアント向けにご提供する JPMD オリジナルのポスティングメディアサービス。
- ※2 予測値はあくまで過去のレスポンスデータに基づく予測であり、レスポンスをお約束するものではありません。
- ※3 お預かりするレスポンスデータの件数及び内容によっては、モデルを作成できない場合があります。

【サービスイメージ】



【AI 分析モデルに対する講評】

一橋大学大学院経営管理研究科 准教授 横内大介氏

本システム開発では、JP メディアダイレクトがもつビッグデータのエリア特性をいかに AI に学習させるかが肝になります。一般的な AI 開発では効率を優先して 1 つの AI にすべてのビッグデータをそのまま学習させがちですが、今回のシステムは、エリアの特徴を探索的データ解析で洗い出し、特徴が共通した各エリアごとに AI を個別に構築します。その結果、従前の方法で作るシステムに比べて予測性能やアカウントビリティは飛躍的に向上しています。

英国ラフバラ大学数理科学科 講師・北里大学未来工学部データサイエンス学科 特任教授 島津秀康氏

今回、JP メディアダイレクトが開発した AI 分析モデルは、徹底した探索的データ解析にもとづき、町丁目レベルでレスポンス・パターンの特徴付けを行い、これらを個々の AI システムとして実装しています。そのため、従来の AI では難しかった予測結果の自然な解釈がしやすく、将来的にクライアントのニーズに応じた柔軟な AI システムのカスタマイズ、改良を容易にしている点で優れています。

【株式会社フィンデクスについて】 <https://f-index.co.jp/>

「真に役立つデータサイエンスの力」の言葉のもと、既成の AI パッケージの提供ではなく、お客様のご要望を丹念にヒアリングしたうえで、業務に精通したデータサイエンティストによる説明可能性・透明性が高い特別な AI エンジンを提供。

【JP メディアダイレクトについて】 <https://www.jp-md.co.jp/>

JP メディアダイレクトは 日本郵便株式会社、株式会社電通グループ、株式会社電通プロモーションプラス 3 社の出資により 2008 年 2 月に設立。郵便物流・郵便局ネットワーク等を活用した DM メディアの企画・開発・販売および、ダイレクトマーケティング・BPO 関連サービス等を提供。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社 JP メディアダイレクト 経営管理本部

担当：今埜

【商品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社 JP メディアダイレクト

ソリューション事業本部 担当：谷口、伊勢

E-mail : solution-design@jp-md.co.jp